



学校教育目標

自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける人

【目指す学校の姿】

子どもと大人のやりがいあふれる松本小学校

児童：「仲間と協力 心一つに 次を創る 松本っ子」

保護者：「子どもが自分を発揮できる場」「相談できる場」

教職員：「子どもの成長を支援する場」「語り合える場」

【福井市学校教育方針】学びをつなぐ 未来につなげる

たくましく生きる松本っ子につけたい5つの力

⑤仲間と協働し、感動する力

③自分の考えをもち、伝える力

④失敗をおそれず、挑戦する力

①自分を知り、信じる力 ②相手を大切に、関わっていく力

【R8松本小キーワードは『主体的』『つながる』『次を創る』】

『主体的』 気づく、そして興味をもつ・自分の未来とつなげてみる・

見通しをもつ・粘り強く取り組む・振り返って次につなげる

『つながる』 人をつなぐ・学びをつなぐ・支援と説明でつなぐ

『次を創る』 主体的に、つながりあって、アイデアを形にしよう。ワクワクを、生み出そう。

重点目標

松本っ子みんなでつながる仲間作り

- (1) あこがれられる・あこがれる関係づくり
- (2) 「声」でつながりワクワクを生み出す
- (3) 自分作り・人間関係作りのスキルアップ

自分(たち)の考えを、自分(たち)で、発信・実行する児童と教職員

- (1) 「特別活動」「生活・総合」「行事」をつなぎ、児童主体の時間と場に
- (2) 児童主体を可能にするカリキュラムマネジメントのさらなる促進
- (3) 児童・教職員で「自ら学び、仲間とつながる」(研究主題)を果たす

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校

- (1) 「気づき→共有→支援」でつなぐ松本小
- (2) 保護者・地域とともに安全教育の推進
- (3) ワクワク！笑顔をつなぐ大作戦

具体的な取組

(1) 縦割り交流・学年間交流で「心一つに」

あこがれた経験から「自分も、
あこがれられる人になりたい」

高学年の姿を見て
「私もあなりたい」

(2) 「声で自己表現」のワクワクを楽しむ！

挨拶・歌声・発表・返事・つぶやき・うなずき…。
様々な「声」を大切にしながらつながる学校に

(3) ポジティブ教育で、5つの力UP！

「みんなってすごい！でも、自分もすごい！」
自己肯定感や思いやりを育てる集団づくり

(1) 自分たちの課題を解決する。その過程を、自分たちの言葉で語る

学校生活での課題に自分たちで気づき、考えて決め、実行し、自分たちの
言葉で語る松本っ子に6年間かけてなることを目指し、5つの力をつける
時間と場を保障する。「松本フェスティバル」を、つけた力を発揮する場
とする。将来の「自己選択・自己決定」の力につなげる。

(2) 全教科・領域をつないで力をつける教育活動の展開

生活科・総合的な学習と全教科・領域をつなぎ(カリマネ)、「全ての教
育活動で総合的に力をつける」展開で、学習効果の最大化を図る。

(3) 研究4部会がめあてをもって立ち、ともにつながり合って果たす、教育活動の展開

特別活動部

子どもの思いから
主体の芽を育て、
ワクワクを創る

授業作り部

OICT 活用 &
face to face
Oカリマネ

ふるさと総合部

O地域発信
O異学年交流
Oカリマネ

児童支援部

安心・安全を「大人から子どもへ」
O指導から発達支援へ
O事後対応から未然防止へ

数値目標

- 自他を大切に、ともに取り組んでいる児童95%以上
- 特活・生活総合・行事などで場を保障した教師100%

- 自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている児童93%以上
- 児童につけたい5つの力を意識して、教育活動を提案・計画・実践した教師100%
- 将来の夢や目標をもっている児童90%以上
- 郷土福井の松本を大切にしたいと思う児童95%以上
- 自分にはよいところがあると答える児童90%以上
- 全教育活動とつなぐキャリア教育に力を入れている教師100%
- 児童がふるさと松本とつながりをもつ教育活動に、意欲的に取り組んでいる教師100%

(1) チーム共有と対応で児童を必要な支援に繋ぐ

気づきのプロ
全教職員
全体を見通すプロ
管理職

つなぐプロ
特コ・教育相談
生徒指導

- ①全方向からの気づきと即相談 0日目から
- ②保護者・外部との連携
- ③具体支援で改善
- ④安心・安全な学校へ

・教科担任制を全学年実施「みんなで具体支援を」

(2) 児童・PTA・地域と共に「学校安全」を考える

・避難訓練等の安全教育を保護者に公開する。

(3) 松本小の魅力発信 ～学校だより・HP等で～

- 学校が楽しいと答える児童94%以上
- 学校の考えが適切に伝えられ、教育目標や児童につけたい力について理解した保護者92%以上
- 学校全体で児童理解・支援につなげたと考える教師100%